



京都市青年経営者研究会

平成 30 年度

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

事業報告書



事業名称	京都市とつながりを広げる納涼会		担当委員会	親睦交流委員会
報告者氏名	笠井 博有		担当副会長署名	岡田 孝治
実施年月日	平成30年7月24日(火)		場 所	職員会館 かもがわ
参加者	26名	内 訳	芳村 敦, 清水 達郎, 岡田 孝治, 岡野 恵美, 笠井 博有, 木口 史行, 坂井 利行, 馬場 博幸, 村上 幸総, 中西 厚詞, 中川 壯一, 内田 幸和, 恩田 康弘, 近藤 純弘, 玉木 士朗, 森川 武夫 【京都市】五味 孝昭, 畑中 伸夫, 橋 優作, 田中 和典, 吉田 仁昭, 吉田 啓人, 恵良 陽一, 山本 恵果, 林 幸一, 野原 永臣	
主なスケジュール等	18:00 開会 18:04 京都市職員紹介 18:15 開宴 (アトラクション: マネーの虎への道) 21:00 閉会			
内 容				
<p>京都市と深く繋がりを持つ本会の強みを生かすため、京都市職員と会員各位が携わる業界の生きた話などを気軽に交し合い、互いに活かしあえるような関係づくりを目指し、また会員同士の親睦も積極的に図ることを目的とした納涼会を開催しました。</p> <p>食事をしながら楽しく交流できるように、かつてTVで一世風靡したマネーの虎をアレンジし、テーブル対抗の新規ビジネスプレゼン合戦を行いました。多様な部署から参加いただいた京都市職員の公と私達の民が混ざること、どのテーブルも活気のある交流を図ることができました。</p>				
				

事業名称	見て・聴いて・感じる広島研修旅行		担当委員会	調査研究委員会
報告者氏名	岡野 恵美		担当副会長署名	清水 達郎
実施年月日	平成 30 年 11 月 17 日 (土) ～11 月 18 日 (日)		場 所	広島県内各所
参加者	7 名	内 訳	芳村 敦, 清水 達郎, 岡田 孝治, 岡野 恵美, 川口 篤史, 瀬川 孝義, その他 1 名	
主なスケジュール等	(株) アイエスツール, 呉市海事歴史博物館 大和ミュージアム, 被災地見学 広島平和記念資料館, 原爆ドーム, 海上自衛隊第 1 術科学校			

内 容

被災企業見学 株式会社 アイエスツール

設 立：平成 20 年 3 月

事 業：切削工具の再研磨・再コーティング

製造（特殊形状、オーダーメイド対応）

代表者：代表取締役 石原 雅也

従業員：25 人

住 所：〒720-0004 広島県福山市御幸町中津原 1698

ご対応者：代表取締役 石井氏 職場長 井上氏 岡山営業 木下氏

同 席 者： 広島 U B A 会長 田口氏 広島県中小企業団体中央会 主事 児山氏

平成 30 年 7 月豪雨

7 月 6 日 17 時 10 分に長崎、福岡、佐賀の 3 県に大雨特別警報が発表。19 時 40 分に広島、岡山、鳥取、22 時 50 分に京都、兵庫と、1 日で 8 府県に大雨特別警報が発表。

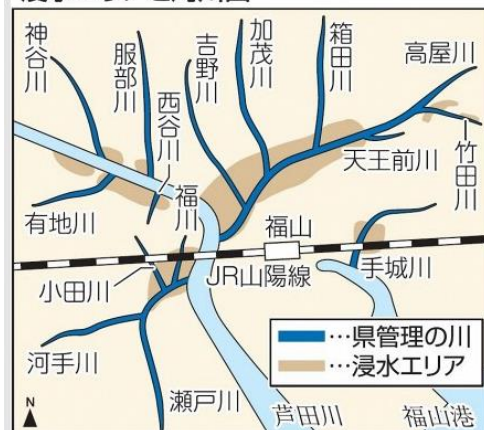
さらに翌 7 日 12 時 50 分には岐阜県、翌 8 日 5 時 50 分には高知、愛媛の 2 県にも大雨特別警報が発表され、最終的に運用を開始して以来最多となる計 11 府県で大雨特別警報が発表された。この豪雨により、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が 200 人を超える甚大な災害となった。また、全国で上水道や通信といったライフラインに被害が及んだほか、交通障害が広域的に発生。平成に入ってから豪雨災害としては初めて死者数が 100 人を超え、「平成最悪の水害」と報道された。

福山市では駅家町で農業用ため池が決壊し土砂崩れに巻き込まれるなど 2 人が死亡した。

芦田川や手城川の支流では内水氾濫が発生したとみられ、市内の約 20 平方キロメートルが浸水した。



福山市が公開した西日本豪雨での主な浸水エリアと河川図



被害状況・その時・・・

市内で、芦田川が7日午前1時、山手町で氾濫危険水位（5.6メートル）を越える5.97メートルを観測し、氾濫は免れたが、同川支流など30河川で破堤や越水が発生。床上・床下浸水約1400件、道路冠水約180カ所などの被害が報告されている。複数の河川で内水氾濫が発生したと考えられる。山手町の福川では、合流する瀬戸川の水位が上がり、逆流を防ぐため樋門を閉めてポンプでの排水を実施。5日深夜から国交省のポンプ車と下流の排水機場で合わせて最大毎秒5.5トン排水したが追いつかず、6日午後6時40分には水位が護岸の高さの1.4メートルを越えた。このころから福川があふれ、同町一帯で浸水が始まったとみられるという。

神辺町を流れる天王前川でも、高屋川へポンプで排水を行ったものの間に合わなかったことが町内への浸水に繋がったとみられている。

真備の方とは違い河川氾濫の様な津波が押し寄せる様な感じではなかったが、降り続いた雨が、7日深夜に風はおさまったものの雨は降り続き、会社横の河川から腰ぐらまで浸水。

マシンニングセンターなどが水没した。また、機械からの油流出が（約8,000L）あり、水が引いて行く過程でも油が層になって浮いている状況となった。

また、幹部を会社に呼び出し対応しようとした。




被害状況等をお話いただいた、
代表取締役 石原氏



集塵機の装置にもアンカーを打っていたが、
外れて上に持ち上がった時の事を説明中。



 の部分は、油が浮いていた痕跡

被災後から現在について

- ・キュービクルなどの電気系統がどうなっているかも分からない状況。
 - 感電を考えた。
- ・メーカーとしては、水が浸かった所までを確認し、その部分だけが潰れていると判断される（半分しか浸かっていなければ、全て使えなくても修理費も半分の見積）などの問題点があった。
- ・修理費等に1億2千万円程度必要となった。
- ・行政には、工業団地への移転も勧められたが起業して10年程度しか経っていない中で費用的にも難しい。など数多くの問題が出てきた。
 - 1週間で約800社の仕事をしていても、「被災したので大変だから良いよ。」と言って貰えるのも最初の内だけで、その後納期が間に合わないなどになってくれば他社に転注となる。その場合、自分の会社に全ての取引先が戻って来る保障がない為、中小・小規模企業が仕事を停滞出来るのは1週間が限度と考えた。
 - ・ メーカーに問い合わせると、2週間後にしか作業をしに行く事が出来ない。その後、電源を入れて動作確認・・・などの手順になると言われる。
 - ・ 東日本大震災を経験された同じ様な企業の社長に連絡し、どの様な対処をしたのかを聞く。
 - ・ メーカーを待たずに自分達で状況確認を行った。水没してしまった部品等を外し、真水で洗い天日干しをする作業を2日間掛けて数回行う。その後、ブレーカーの上げ下げを音等は怖い思いをしたが、何度も行う事で電源が入る。
 - ・ 3日に1度ぐらいアラーム等が鳴る事もあり、メーカーとも色々と相談しながら基盤を直結するなどして部品を待つ。
 - ・ この方法で、機械の8割を何とか稼働させることが出来、何とか約1週間で工場を再稼働させることが出来た。
 - ・ 毎日の様に、部品が届いているが何を頼んでいて何が届いているのか等の把握が出来ない。（納品残は4000万円程度）
 - ・ 現在も真水で洗い天日干しを行っている機械もある。
 - ・ 不安は、全ての機械がきちんと直っている訳ではないので、ちょっとした事で機械の故障があるのが大変。
 - ・ 注文を受ける等のコピー機に関しては、何台も入れている企業から代替え品が納入されるという事もあり、家庭用プリンターを購入した。

被災して・・・（今後の対策等について）

- ① 社員の安全！とにかく逃げる！
（幹部を会社へ呼んだのを一番反省されていた。）社員の安全管理が出来ずに、危ない状況の中で移動させたり、自宅等もどうなるのか分からない状況下で呼び出した事は一番の後悔と反省であり、絶対に代表としてやってはいけない事だと痛感した。
- ② 保険の見直しを行って下さい！
自分の会社の保険内容を確認して見直しをしておく方が良い。
- ③ リースの場合、償却していてもあくまでもリースなので、水に浸かっても現状復旧してから返して下さいと言われた。
機械のリースをする際には注意すべき。（個人としては、機械はリースするものではないと感じた。）

④ 復興補助金（支援金）を待てない。待つことができるのは体力（人・金銭面等）のある企業だけ。それを待つ事が出来ない企業が多くあった。

自分達ができる事をやる。

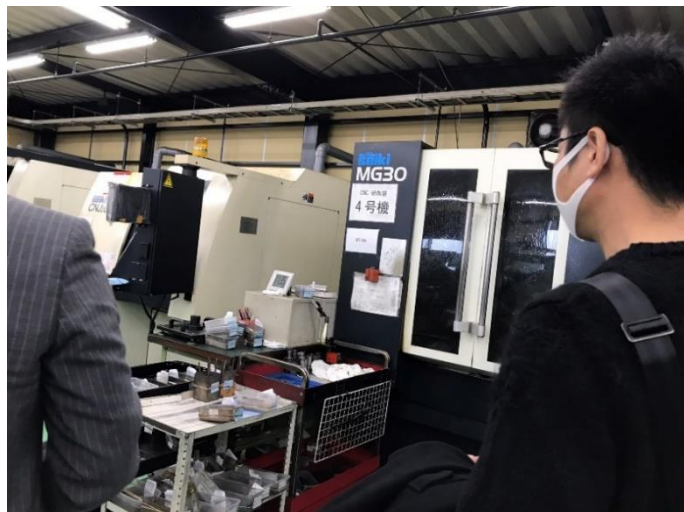
復興支援に関しては、熊本地震が基本ベースに考えられていたので、毎日情報が変わっていた事もあった。

⑤ 自然災害の時には、何もできない。ただ、被災した時に写真（その時の状況が分かるもの）等で記録を残す。

⑥ 行政とのギャップは多々あったので、どう伝えるのかを考える。



今現在も、直結で繋げて稼働している機械。



呉市海事歴史博物館 大和ミュージアム

全長 26.3 メートルもある 10 分の 1 戦艦「大和」は、設計図や写真、潜水調査水中映像などをもとに、可能な限り詳細に再現され展示されていました。

呉は、明治 22 年に呉鎮守府、明治 36 年には呉海軍工廠が設置され、戦前は戦艦「大和」を建造した東洋一の軍港、日本一の海軍工廠の街として栄えていました。

戦後には、戦前から培われてきた技術が新しい技術と結びつき、世界最大のタンカーを数多く建造する有数の臨海工業都市として発展してきました零式艦上戦闘機六二型、特攻兵器「回天」十型（試作型）などの実物資料で戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えます。

呉で培われた材料をつなぐ技術や目標へまっすぐ進む技術などは、現在の宇宙ロケット製造技術にも引き継がれています。

操船シミュレーターのほか、波の性質を学べる実験水槽、科学の不思議を体験するサイエンスショーや工作教室などで楽しく学ぶ事ができました。



1/10 サイズでも迫力ある戦艦大和。



引き上げられたゼロ戦。



体験中の芳村会長

坂町付近被災地見学（車窓から）

車窓からではありましたが、土石流の被災現地に行くことが出来ました。
詳しい河川名等に関しては、観光バスではなかった為、マイクもない状況下での説明でしたので、記録出来ていません。
災害当時のままの住宅や幼稚園、またある場所には、供花をされている住宅跡地もあり、災害の大きさを目の当たりにしました。
また、倒壊している家屋の通り1本奥では、今現在も生活されている方もおられました。





公園には、子供たちの書いた
「がんばろう！」というメッセージと絵。



未だ、そのままの状態でおいてある家屋。



河川上流付近からの土石流により、大小さまざまな岩が落石。

広島平和記念資料館・原爆ドーム

生憎、本館資料館はリニューアル工事中の為、東館のみの見学となりました。東館は、「導入展示」、「核兵器の危険性」、「広島のみ」の3つの展示ゾーンに分かれており、被爆前の広島とその後の人々の暮らしや、原子爆弾の開発・投下・脅威そして何より、核の時代から核兵器廃絶に向けて学ぶ事が出来ました。

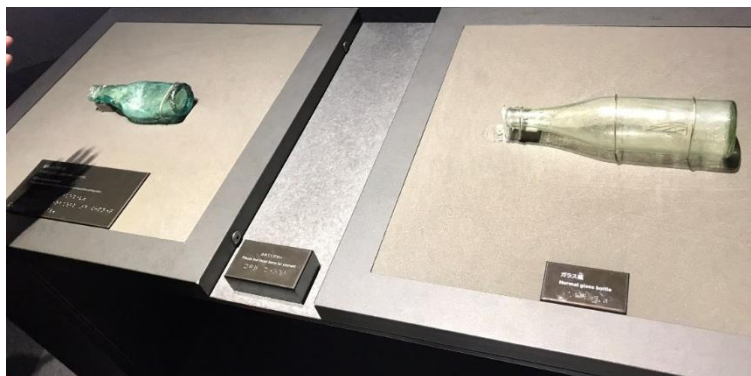
また、平和公園内にある、原爆死没者慰霊碑・原爆の子の像（2歳の時被爆した佐々木禎子さんは、10年後の小学校6年生の時に突然白血病と診断され、8か月間の闘病生活の後、昭和30年10月25日に短い生涯を終えました。禎子さんは「鶴を千羽折ると病気が治る」と信じ、菓子の包み紙や包装紙などで1,300羽以上の鶴を折り続けたそうです。）に手を合わせ、その後原爆ドームに向かいました。



オバマ大統領の広島訪問時の内容



被爆前と被爆後の瓦を実際に触ってみる事が出来た。



被爆前と被爆後の飲料水のビン



原爆死没者慰霊碑



原爆ドーム

海上自衛隊 第1術科学校

ご対応者：第1術科学校 総務課 広報 三等海尉 濱口氏

明治21年、東京築地にあった海軍兵学校が江田島に移転し、江田島に海軍兵学校生徒の教育が開始されました。

当初生徒は表棧橋に係留された学習船「東京丸」で起居していましたが、明治26年に赤レンガの生徒館が完成しました。以後、海軍兵学校は逐次拡充整備され、昭和20年12月1日に閉校されるまで、57年間にわたり、海軍士官養成の場としての歴史と伝統があります。終戦後は、11年間にわたり、米軍及び英連邦軍等が進駐、施設を使用しましたが、昭和31年に海上自衛隊が施設を引き継ぎ、横須賀から術科学校が移転、昭和32年5月には海上自衛隊幹部候補生学校が独立開校、翌33年4月には、海上自衛隊第1術科学校が発足。現在では、防衛大臣の指揮監督の下、自衛艦隊、地方隊などの部隊と幹部学校、幹部候補生学校及び4つの術科学校等の教育機関があり、第1術科学校は主として艦艇職域術科の教育訓練を担当されています。

【見学場所】

①大講堂・・・鉄骨煉瓦石造の大講堂は大正6年に兵学校生徒の入校式、卒業式また精神教育の場として建築されました。外壁には瀬戸内海産の花崗岩を使っておられ、内部はほぼ吹抜けとなっており、約2000名の収容能力がある。90年以上経った今日も、変わらぬ姿で、建っていて現在は幹部候補生、第1術科学校の学生等の入校式、卒業式等儀式に使用されています。

②赤レンガ・・・全国的に有名な、幹部候補生学校庁舎は、日清戦争の前年、明治26年に海軍兵学校生徒館としてその生活、教育のため建築された。

設計は、東京築地にあった兵学校生徒館も手がけたイギリス人建築家によるもの。屋根は建築当初は日本瓦葺だったが、明治38年の安芸灘地震後にスレート葺になった。現在も、生徒の方々が学んでおられる場所。

③参考資料館・・・ギリシャ神殿風の鉄筋コンクリート造の2階建。先輩の偉業を偲び、「温故知新」によって自己修養と学術研鑽の資とするため、兵学校卒業生の積立金及び一般企業等の寄付をもって、昭和11年に建築された。戦前約40,000点の歴史的資料が保存されていたが、終戦時、一部の貴重な資料を厳島神社、大山祇神社等に奉納した他は、進駐軍による没収を恐れ焼却処分された。現在は、返却された資料等約16,000点が保存。

主な展示資料

- ・勝海舟の書
- ・広瀬武夫中佐の資料
- ・佐久間勉大尉（第6潜水艇長）の遺書
- ・海軍将校の書
- ・特攻隊員の遺書
- ・横山大観画伯の富士を描いた作品「正気放光」等



赤レンガ
映画やドラマの撮影でも使われている。



海龍・特殊潜航艇（甲標的）の実物を間近で見学



7月豪雨で江田島も被災



【感想等】

今回の研修にて、多くの事を学ぶ事が出来ました。

① 弊社も台風での被害があったばかりですが、風による被害だけで終わりました。ただ、7月豪雨の際には、西高瀬川・桂川が氾濫寸前まで行っており、もしかしたらという状況だったのを思い起こしました。万が一を考えると、従業員の安全確保やその後の想定される事を経営者として考えておく事の重要性。そして何より、今回知った対処方法や問題点などを弊社の管理職とも情報共有し、これからの事を考えて行こうと思っています。

② 被災地見学では、まだまだ多くの家屋がそのままの状態に残っており、完全なる復興には時間が掛かると感じました。

そんな中でも、子供たちが元気に笑顔で遊んでいる姿を垣間見る事が出来た事が何よりも、そこに居る人たちの心の支えになっていると感じました。

③ 平和学習では、海軍時代から現在の自衛隊の必要性について考えさせられる事が多々ありました。日本は至って平和な国ではありますが、世界のどこかでは今でも戦争が行われているのが事実です。そして、戦後日本がどの様に発展したのかを知る事や潜水艦等の技術や職人魂が現代の日本人にも引き継がれていると感じました。

今までも被災地には足を運んだ事がありますが、どの場所を見たり作業を手伝ったりしても、自身が被災した時・被災された地域や企業に対し、何が出来るのかと言われれば正直何もできないというのが本当の所なのかもしれませんが、今後も台風・地震などの自然災害がなくなるという事はない中で、地域企業として何が出来るのかは日々考えなければいけないと感じました。

また、メディアやネットの情報社会の中ではありますが、自分の目で見えて感じてそして他県の方の話しを実際に聴く事で情報共有する事の大切さを改めて感じさせられる研修となりました。

事業名称	新年会		担当委員会	賛助企画委員会
報告者氏名	村上 幸総		担当副会長署名	岡田 孝治
実施年月日	平成31年1月23日(水)		場 所	南禅寺 順正(京都市左京区)
参加者	28名	内 訳	芳村 敦, 清水 達郎, 岡田 孝治, 岡野 恵美, 笠井 博有, 村上 幸総, 瀬川 孝義, 上野 宏行, 太田 浩介, 加藤 炳秀, 西田 博一, 安岡 孝, 内田 幸和, 恩田 康弘, 近藤 純弘, 田中 忠幸, 玉木 士朗, 野本 浩司, 森川 武夫 【事務局】五味 孝昭, 畑中 伸夫, 橋 優作 【大阪市青年経営者連合会】代田 篤志, 村井 進, 竹村 紀宏, 万福 公至, 平川 利之, 渡邊 大和	
主なスケジュール等	19:00 開会, 芳村会長挨拶 アトラクション(大名刺交換会) 年年歳歳2019京都青年団体会議PR 乾杯(大阪市青年経営者連合会 代田副会長), 歓談 アトラクション(1分間スピーチ) 20:50 中締め(村上幹事), 閉会挨拶(恩田賛助会員)			

内 容

毎年恒例の新年会を賛助会員企画と題し担当役員プラス賛助会員より委員を募り企画開催を行った。

また大阪市青年経営者連合会、神戸市機械金属工業会青年経営研究会との交流事業を増やしていくという方針のもと2団体にお声かけを行い、来賓として大阪市青年経営者連合会より6名様参加頂いた。

「接待で使える京都らしい場所」・「会員相互の交流」をテーマに挙げ、担当役員協議のもと南禅寺 順正にて参加者全員で大名刺交換会・1分間スピーチを行う事で、参加者交流だけでなく個々の企業等の事を知る事が出来た。



事業名称	京都 仁和寺で学ぶビジネスの温故知新 (大阪市青年経営者連合会共催事業)		担当委員会	調査研究委員会
報告者氏名	清水 達郎		担当副会長署名	清水 達郎
実施年月日	平成31年2月22日(金)		場 所	仁和寺(京都市右京区) ホテル佐野家(京都市下京区)
参加者	拝観 8名 懇親会 11名 ※当会参加者のみの人数	内 訳	芳村 敦, 清水 達郎, 岡田 孝治, 岡野 恵美, 笠井 博有, 瀬川 孝義, 太田 浩介, 加藤 炳秀, 中川 壯一, 恩田 康弘, 野本 浩司 【事務局】橋 優作 (その他, 大阪市青年経営者連合会)	
主なスケジュール等	14:00 仁和寺・松林庵 特別拝観 15:00 開会挨拶 講話(仁和寺執行長 真言宗御室派 宗務総長 吉田 正裕 氏) (仁和寺執行 真言宗御室派 財務部長 大石 隆淳 氏) 謝辞 19:00 懇親会開会(ホテル佐野屋) 開会の挨拶(大阪市青年経営者連合会 高田会長) 乾杯の挨拶(京都市青年経営者研究会 芳村会長) 歓談・アトラクション(法律〇×クイズ) 閉会の挨拶(大阪市青年経営者連合会 渡邊ブロック長) 21:00 閉会			
内 容				
1. 仁和寺・松林庵 特別拝観 2 班に分かれて御殿と松林庵を見学しました。 御殿では御殿回廊と呼ばれる渡り廊下を通り順に拝観しました。 白書院・・・襖には松の絵が部屋全体に描かれている。 宸殿・・・御殿の中心建物で檜皮葺、入母屋造。 黒書院・・・宸殿の西側に建ち内部は竹の間・秋草の間など6室からなる。 霊明殿・・・正面上に近江文麿の筆でかけられた扁額がある。 南庭・・・宸殿の南側にあり白書院からは正面には勅使門、右庭越に仁王門が見える。 北庭・・・宸殿の北側にあり斜面を利用した滝組に池泉を配し、築山に飛濤亭、その奥には中門や五重塔を望む事が出来る。 仁和寺は、創建から1100年余りを経て新しいビジネスに挑まれました。それが、1泊100万円の高級宿坊です。檀家がなく主な収入源が拝観料である中で、改修工事等の影響もあり拝観者数が減少。「このままでは、重要文化財の修復にまわす余裕がなくなる。先人たちが守ってきた仁和寺の建築物等をこれから先、何百年も先に伝えるため」に伝統を守りながら、新しい思い切った取り組みを打ち出す「温故知新」のもと高級宿坊を始められました。 宿坊になっているのは、松林庵は仁和寺境内にある木造2階建てで延床面積は約160平方メートルで、2017年から2018年にかけて改修2018年5月から宿泊者を受け入れ、松林庵に宿泊するだけでなく、歴代住職は執務室として使う「御殿」も一晩貸切の事が出来る。最初の宿泊者はヨーロッパの誰でも知っている方だそうです。 私は仁和寺がある同じ京都市右京区に住んでおり歩いても行ける距離ですが、拝観したのは初めてでした。多くの重要文化財や立派な建物があることを知り、そして仁和寺の歴史を学ぶことが出来ました。また、芳村会長のご縁で特別に拝観させていただいた1泊100万円の松林庵も貴重な体験でした。				



松林庵（外観・内観）



2. 講話

宗務総長の吉田様からは仁和寺の歴史等についてお話をいただきました。

仁和寺は仁和 4 年に建てられ第 1 世宇多法王より 30 代にわたって皇室出身者が住職を務め、現在は真言宗御室派の総本山です。お寺には運営方法もまちまちで檀家寺（檀家の葬祭供養を行い、檀家専用の墓地を境内に持っていることも多く、会費やお布施などで運営している。）や信者寺（参拝できるお寺で、祈祷や祈願も行っており参拝料や開帳の際に募った寄付等で運営している。）や観光寺（観光客・修学旅行生が多く訪れるお寺で、主に拝観料で運営されています。）とありますが、仁和寺はどれにも当てはまりません。そのため運営資金も少なく、修繕費も補う事が厳しい状態で、2017 年には観光客が金閣寺で約 400 万人に対して仁和寺は約 27 万人だったそうです。そういった中、ビジネスの 1 つとして「松林庵 1 泊 100 万円」という宿泊施設を立ち上げられました。また、信仰・観光・健康の「三こう」を大切にしていると話くださいました。

財務部長の大石様からは松林庵等のビジネスのお話をいただきました。

佐賀県出身で職員として佐賀の商工観光課などで働いておられました。そこでは、異業種交流もよくやって、そこから新しいアイデアが生まれる事もあった。松林庵はテレビや新聞等のマスコミの影響が大きかった。宿泊いただく方は海外の富裕層で厳しく審査をされており現在のところ約 8 組の方に宿泊していただいている。今年の 3 月にはある自動車会社のキャンペーンで車を買ってもらった 2 名の方に松林庵の宿泊権がもらえるなどすでに予定が入っていると、話くださいました。

どのお寺にしても修繕費用等お金が必要で、一般企業と同じとは言い切れないかもしれませんが、自分のお寺、このお寺はどのようにしてお金を稼いでいく事が良いのか試行錯誤されていることを知り、刺激を受けました。また業種はまったく違いますが、ビジネスのアイデアや創造を学ぶことが出来ました。



3. 懇親会

ホテル佐野屋の大広間で開催され、京都市青年経営者研究会から11名、大阪市青年経営者連合会からは約50名参加となりました。

アトラクションでは、大阪市青年経営者連合会会員で弁護士の大谷先生による法律に関する〇×クイズが計6問あり、各班に分かれて競いました。全問正解の瀬川監査・笠井幹事の班が優勝されました。すばらしい優勝商品でした・・・

終始なごやかな雰囲気の中、多業種の皆様と情報交換、そして楽しい交流が出来ました。



高田会長 挨拶



芳村会長 乾杯



アトラクション
法律〇×クイズ



事業名称	HORIBA BIWAKO E-HARBOR (堀場製作所びわこEハーバー) 施設見学		担当委員会	調査研究委員会
報告者氏名	坂井 利行	担当副会長署名	清水 達郎	
実施年月日	平成31年2月27日(水)	場 所	HORIBA BIWAKO E-HARBOR, おごと温泉 暖灯館 きくのや (滋賀県大津市)	
参加者	施設見学19名 懇親会16名	内 訳	芳村 敦, 清水 達郎, 岡野 恵美, 笠井 博有, 坂井 利行, 村上 幸総, 瀬川 孝義, 太田 浩介, 恩田 康弘, 玉木 士朗, 野本 浩司 【事務局】畑中 伸夫, 橋 優作 【大阪市青年経営者連合会】高田 和亮, 代田 篤志, 村井 進, 竹村 紀宏, 南 仁, 宮本 英之	
主なスケジュール等	14:00 施設見学開始 (HORIBA BIWAKO E-HARBOR) 対応者: 堀場製作所 管理本部 影山 皆美様 田中様 コーポレートコミュニケーション室 石田 智始様 生産一部副部長 富田 敦様 (1) 芳村会長挨拶 (2) 堀場製作所について (DVD) (3) 堀場製作所概要 (石田様) (4) BIWAKO E-HARBOR について (富田様) (5) 2班に分かれて、自動車試験設備 E-LAB や、排ガス測定装置の製造現場、食堂、オフィス等を見学 15:30 見学終了 (マイクロバス移動, 自由時間) 18:00 懇親会開会 (おごと温泉 暖灯館 きくのや) (1) 芳村 敦 会長 挨拶 (2) 大阪市青年経営者連合会 高田 和亮 会長 乾杯 (3) 懇談 (4) 清水副会長 閉会挨拶 20:00 閉会			
内 容				
1. HORIBA BIWAKO E-HARBOR 見学 「分析」をキーワードに自動車、環境、医療、半導体、科学の分野に特化して事業を展開。あらゆる部品、製造装置を内製しており、短納期・ローコストを実現している強みを見せていただいた。 この工場には現在 600 名ほどの従業員が働いているが、京都吉祥院から雄琴に生産ラインを移すときは、交通の便で社員から反対もあったそうだが、「働きやすい職場作り」をとされている様子も伺うことが出来、非製造業の会員にも大いに役立った見学となった。 この工場には現在 600 名ほどの従業員が働いているが、京都吉祥院から雄琴に生産ラインを移すときは、交通の便で社員から反対もあったそうだが、「働きやすい職場作り」をとされている様子も伺うことが出来、非製造業の会員にも大いに役立った見学となった。				



HORIBA BIWAKO E-HARBOR を見てみよう!

1 エントランス 2F



開放的なエントランスで
生息する自然の光と空気を
感じながらの滞在を
実現します。

2 E-LAB 1F

グローバルスタンダードで
最先端の自動車の部品を
検査するための設備を
導入しています。

- 1F 1 自動車部品の検査設備
- 2F 2 研究開発
- 3F 3 生産
- 4F 4 研究開発
- 5F 5 研究開発
- 6F 6 オフィス
- 7F 7 研究開発
- 8F 8 研究開発
- 9F 9 PYRATES



3 研究開発



最先端の研究開発設備を
導入し、最先端の技術を開発
しています。

4 エンジン排ガス測定装置



最新のエンジン排ガス測定装置
を導入し、最新の技術を開発
しています。

5 SKY ATRIUM



最新の建築技術を採用し、
開放的な空間を実現しています。

6 PYRATES 9F



最新の建築技術を採用し、
開放的な空間を実現しています。

7 オフィス 6F



最新の建築技術を採用し、
開放的な空間を実現しています。

8 煙道排ガス分析装置



最新の煙道排ガス分析装置
を導入し、最新の技術を開発
しています。



2. 懇親会 (おごと温泉 暖灯館 きくのや)

懇親会までの間に、温泉に入る等、個々にゆっくりして貰う時間を取って貰い、堅苦しくなく浴衣やネクタイを外して交流して貰いました。また、大阪市青年経営者連合会の3名は席を分けさせていただき、本会会員との交流を図りました。

今日の見学の感想や、お互いの情報交換や悩みなどの共有、今後の発展などについて話し合い、充実した懇談となりました。



芳村会長 挨拶



高田会長 乾杯



参加者全員が感想等を発表

